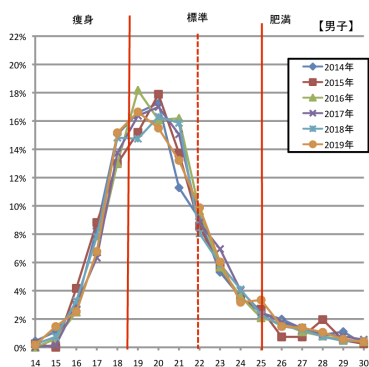
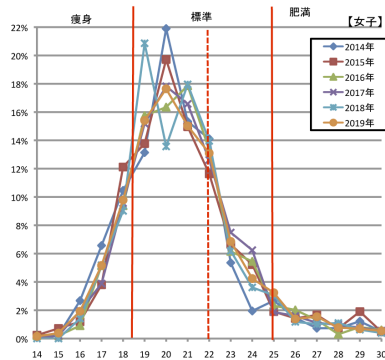


- p.73 ▲2-8 図中「妊婦の身長」
誤) 150cm 以上未満
正) 150cm 未満
- p.74 ▲3-1 図内の表題
誤) (参考) 推定エネルギー量必要量【女性】(kcal/日)
正) (参考) 推定エネルギー必要量【女性】(kcal/日)
- p.77 ▲3-7 図の凡例
誤) どの他
正) その他
- p.87 ▲9-3・コメント 8行目
誤) 「東京都の学校保健統書」によると,
正) 「東京都の学校保健統計書」によると,
- p.99 ▲13-3・コメント 3行目
誤) その差は低年齢になるほど大きくことが示されました。
正) その差は低年齢になるほど大きくいことが示されました。
- p.140 ▲1-6・コメント 3行目
誤) 幼稚園児の7割弱が9時間～10時間未満の睡眠時間
正) 幼稚園児の7割弱が9時間以上の睡眠時間
- p.149 ▲5-1 図の凡例
誤) 埼玉・松戸市〇小学校
正) 埼玉・東松山市〇小学校

【高1】

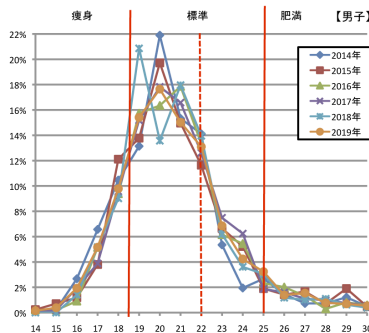


【高1】

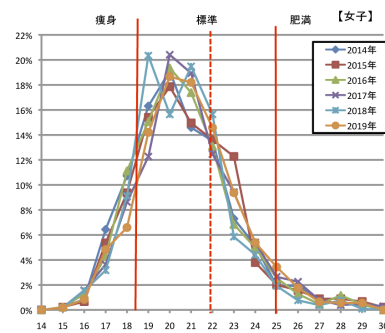


- p.97 ▲11-7 図
赤線が訂正箇所となります。
縦線が間違っておりました。
瘦身が18.5
標準が22
肥満が25

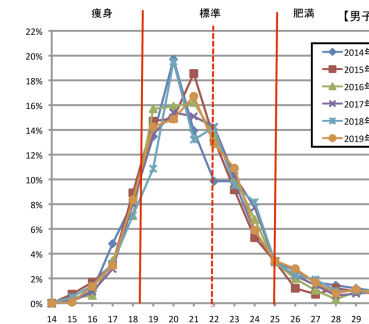
【高2】



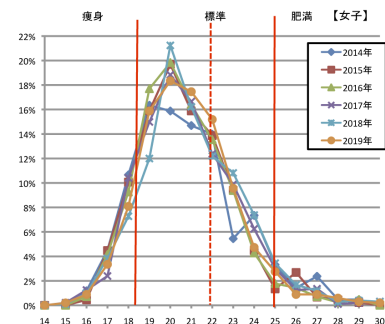
【高2】



【高3】



【高3】



▲12-7 BMIの分布(連絡会議調べ、2014～2019年度)

BMI方式による瘦身と肥満の割合(▲12-6)をみると、昨年と比較して高2男子の「瘦身」と高2女子の「肥満」が特に増加、高1・2女子の「瘦身」、高3女子の「肥満」が特に減少していました。その様子を詳しくみるために年度毎にその分布を示したのが、▲12-7のグラフです(わかりやすくするためにBMI14～30の分布を示しています)。各学年とも男子は分布が左に(特に高1)、女子は右に偏りつつあるようです。平成30年告示の高等学校学習指導要領(保健体育)では、第1款目標のなかで「運動や健康についての自他や社会の課題を発見し」と明記されています。成人になればBMI方式が採用されますから課題の早期発見を考えるとBMI方式が望ましいと思われます。また、学校現場では留学生も増えています。世界基準のBMI方式の方が活用性が高いのではないのでしょうか。引き続き、全国各地の測定結果やご意見を事務局までお寄せいただくと幸いです。